**指導のてびき**

ネット上のヘイトスピーチをなくすためにできること

―法務省人権啓発ビデオ「外国人と人権～違いを認め、共に生きる～」を活用してー

◆目的

・ネット上のヘイトスピーチについて、自分に関わりのあることとしてとらえる。

・ネット上のヘイトスピーチやその他人を傷つける行為について、その解決のために具体的にどのようなことができるか考える。

◆対象

・中学１～３年生

◆時間

・５０分

◆教材名

・ドラマ「ヘイトスピーチ」（法務省人権啓発ビデオ「外国人と人権～違いを認め、共に生きる」より）

https://www.youtube.com/watch?v=pdGUiqaPu2Y&list=PLSmkcN62qni5XIo3lhZ7CEnLTgOkR9xk4&index=14[（7分55](https://youtu.be/pdGUiqaPu2Y（7分55)秒）

◆指導にあたって

・学級や学年に外国にルーツのある生徒や家族等がいる場合は、事前にねらいや学習内容を丁寧に当該生徒や保護者に伝え、理解を得るようにする。

・これまでSNSを使う中で悪口を書かれたりいじめに遭ったりした経験を持つ生徒がいることを想定して、生徒の表情等を丁寧に把握し、変わった様子があればその場で声をかけたり、授業後に気持ちを聞いたりするなど配慮して進める。

◆展開例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 活動 | 指導のポイント | 留意点 |
| ●ネット上のトラブルについて考えるという学習のめあてをつかむ。  （15分） | （発問）今日はネットの利用についてみんなで考えてみたいと思います。みんなにとってネットはどんな存在ですか？  ◆予想される生徒の反応  　　　・SNSで友だちとつながることができるもの  　　　・ゲームとか音楽とか楽しいことがいっぱいある世界  （発問）先生もスマホなどネットはなくてはならないものになっていますが、先日ネットショッピングをしていたら、限定商品の情報が出てきて思わず申し込んだら詐欺に遭ってしまいました。みなさんはネットを利用していて何か嫌な思いをしたことはありますか？  ◆予想される生徒の反応  　　　・知らない人からのメール  　　　・興味のない広告  　　　・悪口の書き込み  【今日のめあて】ネット上のトラブルの１つについて考える。 | ・生徒が発言しやすい雰囲気をつくるよう心がける。  ・不安を抱いている子どもがいることを想定し、生徒の表情の変化に注目するなど、様子を注意深くみる。 |
| ●動画を視聴する。  （25分） | （説明）今日はドラマを観ます。ネット上の、ある問題が出てきますので、どんな問題か注意しながら観てください。  （発問）一番印象に残った場面はどこでしたか？端末に配信するワークシートにその理由とともに書いてください。  ◆予想される生徒の反応  ①みんなの応援が「帰れ」と聞こえた場面  ・ヘイトスピーチにすごくショックを受けたことが悲しくなったから。  ・正訓大丈夫かなと心配になったから。  ②黒板に書かれた励ましの言葉を正訓が見た場面  ・いいクラスの子たちで正訓よかったなあと安心したから。  ・正訓にはたくさんの仲間がいるから大丈夫だと思えたから。  ③正訓とお姉さんの会話の場面  ・正訓はお姉さんがいてくれてとても心強いと感じたと思うから。  ・「ヘイトスピーチに私は負けない」ということばに強さを感じたから。  ④ラストの場面  ・正訓にはちゃんと家族と学校に居場所があると思ったから。  ・クラスのみんなの友情に感動したから。  ※ここまでの流れにおける生徒の理解や出された意見の状況に応じて、ヘイトスピーチについてていねいにおさえる。  （主発問）ヘイトスピーチやネット上で人を苦しめることをなくすために、私たちはどうすべきでしょう。考えを書いてください。  →学級全体で交流  ◆予想される生徒の反応  ・ネットで外国人に対する悪口を見ても無視する。  ・先生に報告する。  ・プロバイダに削除申請する。  ・禁止する法律をつくる。  ・自分たちがまず外国の文化・習慣について知る。 | ・ワークシート配信  ・生徒の回答を教員用端末で集約し、同じ場面ごとにグルーピングして順番に理由を発表させる。  ※別紙「補足」参照 |
| ●ふりかえる。  （10分） | （説明）みんなの意見を聞いて、今日感じたことをワークシートの感想欄に書いてください。  　　　※時間の許す限り、書かれた感想を学級全体で共有して終わる。 |  |

【別紙】　補足

○生徒の状況によって、以下のような発問による展開も考えられる。

（補助発問１）あなたがドラマの中のクラスの一員だったら、どのようなことばを黒板に書きますか？

◆予想される生徒の反応

　　　・正訓がいないと寂しいよ。

　　　・僕たちがついてるから安心しておいでよ。

（補助発問２）ドラマに出てきた鈴木さんのように、あなたが大切な友だちからヘイトスピーチのことについて相談されたらどのように答えますか？

◆予想される生徒の反応

　　　・正訓が実際にこんなこと言われたら絶対に許さない。

　　　・一緒に先生に相談しよう。

（補助発問３）正訓を苦しめたのはネット上のヘイトスピーチでしたが、他にもネットで人が人を苦しめていることがあります。どんなことがあるか知っていますか？

◆予想される生徒の反応

　　　・悪口を書かれて自殺に追い込まれた人がいる。

　　　・家の場所とかプライバシーを勝手に暴露された人がいる。

　　　・SNSの中で仲間外れにされていじめられた人がいる。

発展

○生徒の理解を深め実際の行動につなげていくため、別添の資料１、資料２を活用してさらに取組みを発展させることも考えられる。

・資料１：「ネット上のヘイトスピーチをなくすために」

<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5966/00367914/shiryo1.pdf>

・資料２：「ネット上の書き込みを削除申請する方法について」

<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5966/00367914/shiryo2.pdf>

**ヘイトスピーチとは**

第二条　この法律において「本邦外出身者に対する不当な差別的言動」とは、専ら本邦の域外にある国若しくは地域の出身である者又はその子孫であって適法に居住するもの（以下この条において「本邦外出身者」という。）に対する差別的意識を助長し又は誘発する目的で公然とその生命、身体、自由、名誉若しくは財産に危害を加える旨を告知し又は本邦外出身者を著しく侮蔑するなど、本邦の域外にある国又は地域の出身であることを理由として、本邦外出身者を地域社会から排除することを煽動する不当な差別的言動をいう。

（本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（平成28年6月施行））